

事務事業 No./名称	■サービス部門 総務-02 個人情報保護事業 □支援部門									
主管課	総務課	関連課								
分野名	市民参画									
目標 (目標値)	個人情報の適切な保護									
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考					
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
事業の対象者数	61人	104人	47人							
運営資源状況	決算値(千円)	382	261	272	対象者=個人情報開示件数61					
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	382	261	272						
	人員配置数	0.8	0.8	0.8						
	人件費(千円)	6,482	6,874	7,333						
	協働のパートナー									
事務事業運営経費	総事業費(千円)	6,864	7,135	7,503	対象者=個人情報開示件数61					
	市民1人当りの経費(円)	39	40	42						
	対象者1人当りの経費(円)	112,525	68,606	103,438						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	厚木市	秦野市	鎌倉市
	個人情報開示率	93.0%	70.0%	80.4%	80.3%	95.0%	100.0%	73.8%	89.7%	34.6%
	請求件数	71	40	107	76	40	19	80	58	61
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
		目標値								
	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	実績値								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
個人情報保護事業	382千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	個人情報保護制度の運用				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	時代に即した個人情報保護施策の検討		
課題解決のための取組	再委託・労働者派遣に係る個人情報保護条例の整備、個人情報取扱事務の整備	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	適切な個人情報取扱事務の徹底		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		個人情報保護手続きの適正化を進める。	↓	課長等名
		③有効性 ○			B	課長
		④公平性 ○				内藤 昭二

